

外来医師一覧表

		月	火	水	木	金
内科・総合診療科	午前		岸川 秀樹			
外科・乳腺外来	午前	田辺 大朗		田辺 大朗	甲斐 幹男	
整形外科	午後					済生会熊本病院医師
脳神経外科	午前		済生会熊本病院医師	藤岡 正導		藤岡 正導
	午後			藤岡 正導		
循環器内科	午前	庄野 弘幸	田中 靖章		庄野 弘幸	
	午後	庄野 弘幸	田中 靖章		庄野 弘幸	
心臓血管外科	午後	済生会熊本病院医師 上杉(2週・4週)				
呼吸器内科	午前	済生会熊本病院医師 (第1・2・4週)				
呼吸器外科	午前	吉岡 正一(第3週)				
消化器内科	午前		藤本 貴久	築村 哲人	築村 哲人	藤本 貴久
	午後				築村 哲人	
肝臓外来	午前			熊本大学病院医師 瀬戸山 博子		
腎臓内科	午前					町田 健治
	午後			町田 健治		
泌尿器科	午前			済生会熊本病院医師 三上(第2・4週)	済生会熊本病院医師 占部(第1・3週)	
糖尿病内科	午前					済生会熊本病院医師 星乃(第2週) 松尾(第3週)

- 受付時間／8:30～11:00 (土・日・祝日・年末年始を除く)
- 診療案内／TEL.0964-53-1656 FAX.0964-53-1657
- ※お電話での予約や予約変更は平日14:00～17:00に承っております。
- ※休診日がございますので、事前にお問い合わせください。
- ※再診や紹介状をお持ちの方は事前のご予約をおすすめします。

お知らせ

医師の異動に伴い変更がございます。
ホームページに最新の休診情報を
掲載していますので、ご覧ください。

患者さんの権利と義務

私達は、安心して診療・治療を受けて頂くために、病状や治療法などについて十分な説明を行います。
また患者さんのご負担を軽減し、同意に基づいた医療を提供します。

患者さんの権利

- 1.良質な医療を公平に受ける権利
- 2.診療の内容等について十分な説明を受ける権利
- 3.治療方法など自分の意志で決定する権利
- 4.個人の秘密や医療上の情報が保護される権利
- 5.診療記録の開示を求める権利
- 6.あなたの病気について他の医師に意見を求める権利

患者さんの義務

- 1.自分の健康状態を出来るだけ正確に伝える義務
- 2.わからない事柄について質問する義務
- 3.病院の規則と指示を守り治療に専念する義務
- 4.他の来院者に対して迷惑をかける義務

理念と基本方針

医療・福祉を通じて安心して生活できる地域づくりに貢献します。
「地域医療を支援します」「救急医療を実践します」「健康的な生活を支援します」



社会福祉法人

恩賜財団 済生会みすみ病院

〒869-3205 熊本県宇城市三角町波多775-1

TEL.0964-53-1611(代表) FAX.0964-53-1618

お知らせ・休診情報はこちら

<https://sk-misumi.jp>



発行／令和6年5月 社会福祉法人恩賜財団済生会みすみ病院 広報委員会

咲かせよう いのち 世代を越えて いつまでも。



SAISEIKAI MISUMI HOSPITAL

65 Take Free.
2024.5



院長就任・退任のご挨拶

リハビリテーションだより
「入院関連機能障害(HAD)をご存じですか？」

〔特集〕第2回 家族写真コンテスト 結果発表

みすみ病院のできごと／部署紹介[医事室]

外来医師一覧

院長交代



社会福祉法人

恩賜財団 済生会みすみ病院

健康と福祉の情報誌／発行者 吉岡 正一



就任のご挨拶

持続可能な地域医療に取り組みます

4月より済生会みすみ病院院長に就任いたしました、吉岡正一（よしおかまさかず）と申します。どうぞよろしくお願い申し上げます。

前任地は、済生会熊本病院でした。専門は呼吸器外科と言って、肺癌を中心とした肺、縦隔、胸壁疾患の診断と手術です。健康診断などで異常を発見されてから、CT検査などで精密検査を行い、個々の患者さんの年齢、体力、進行度に応じた治療をチームでしっかりと検討しながら皆様に提案・提供してきました。

この分野ではもう30年ほど前から身体に優しい内視鏡手術で97%の患者さんが治療を受けていらっしゃいます。特に、私が行う手術の40%は、ロボットを使った内視鏡手術で、入院期間も3～5日間で元の生活に復帰できます。また、肺癌の治療も多様化しており、切らずに治す放射線治療、切除不能でも最新の抗癌剤や免疫治療で治療することも可能です。人生100年時代、90歳を過ぎた方にも手術を行ってきました。当院でも、これまでの経験を活かして、皆様の健康管理、健康維持、治療にチームで取り組んで参りたいと考えております。

2024年は、能登半島地震、航空機衝突事故と衝撃的な出来事で始まりました。被災地の状況を報道で見ると、地域の皆様に医療機関というものがどれだけ頼りにされているかをひしひしと感じています。被災した病院が診療を再開した時の、患者さん方の安心した笑顔が印象的です。ただ、病院も例外なく被災しており、建物、医療機器だけでなく職員も被災しています。やむなく離職する医療者もいて、多方面からの援助がなければ、地域医療も存亡の危機に立たされるようです。

今回院長就任にあたり、こうした状況を宇土半島、上天草地区に置き換えて考え、地域に生きる人たちにとって、身近な医療機関が存在すると言うことが、どれだけ地域の皆様の生活の支えになるかという思いを強くしております。いつ何時でも地域の皆様方のニーズにお応えすることが最も大切なことだと考えています。



皆様の声、お気持ちを大事にしつつ、どのような災害にも負けない、持続可能な病院作りに、皆様とともに職員一同と力を合わせて取り組んで参りたいと思います。今後とも、どうぞよろしくお願い申し上げます。

院長
吉岡 正一

退任のご挨拶

これからも笑顔でよろしく

2024年3月で済生会みすみ病院の院長を退任することになりました。みすみ病院を支えていただいた地域の住民の皆様には大変お世話になりました。ありがとうございました。

みすみ病院は、「医療・福祉を通じて、地域住民が安心して生活できる地域創りに貢献します」という理念を持っています。元来、「済生会」は生活に困っている人々にも、しっかり診療をうけていただいて、安心して暮らして欲しいという考えの組織です。私は7年前に院長になりましたが、「みすみ病院は良かね」と地域の方に言ってもらいたいと考えて働いてきました。

現在のみすみ病院は、済生会熊本病院のように高度先進医療を行う病院ではありません。その治療の後、患者さんが元気に家に帰り、安心して快適に暮らしてもらうための体調管理やリハビリ、退院支援を行い、退院後は自宅での療養が順調に進むように、継続的な看護、リハビリも提供しています。高齢者が多い地域においては「病気を治す」ではなく、「病気に寄り添いながら患者さんを支える」ことが目標です。

私も高齢者の仲間入りをしています。私の元気の源は、患者さんやご家族の「笑顔」です。外来や病棟でも、患者さんの笑顔を見ると元気が出ます。みなさんに元気になって欲しいので、私も毎日笑顔でいるように心がけています。

院長は退任しますが、これまでのようにみすみ病院で勤務します。外来も継続します。これからもよろしくお願いします。7年間ありがとうございました。

追伸

先日、みすみ病院でクラウドファンディングを行いました。最近、高齢者の運転が問題になっています。免許を返納される方もあります。「もう運転はやめなっせ」「うんにゃ、まだ運転できる」と親子で議論されているご家族も多いのではないのでしょうか。また、「免許ば返納したけん、買い物や病院通いが困る」という方もおられると思います。そのような方の手助けになればと考えて、今回の企画を行いました。皆様の温かいご支援のおかげで目標金額を達成できました。ありがとうございました。皆様に有効にご利用いただけるように計画しています。是非、ご相談ください。



名誉院長
庄野 弘幸



リハビリテーションだより

入院関連機能障害(HAD)をどう存じますか？

入院関連機能障害(Hospitalization-Associated-Disability:HAD)とは、直接的には運動障害をきたさない疾患(肺炎、心不全、悪性腫瘍など)のために入院したときに発症する安静臥床(不動)を原因とした日常生活動作(ADL)低下もしくは身体機能低下、認知・精神機能低下と定義されます。

＼たとえば…／

急性肺炎の診断で入院…1週間の抗生剤投与で肺炎の症状は軽快したものの、入院前は独歩で歩行していたのに、全身の筋力低下をきたしており、歩行に押し車などの歩行補助具が必要となりました。このような状態がHADの状態です。海外の研究では、70歳以上の高齢者の30～40％に発症するとされています。



＼気をつけたほうがよい人(リスク因子)／

- ・低い日常生活動作(ADL)…ベッドから起き上がる、着替える、歩く、食べる、トイレで排泄する、お風呂に入るなどの日常生活動作に介助が必要な方
- ・認知機能障害
- ・うつ状態
- ・アルブミン低値(低栄養)…やせている人
- ・悪性腫瘍



◆入院中は医師の指示で下記の訓練をおこないます

- ・リハビリスタッフとのリハビリ
- ・リハビリスタッフと看護師により行う日常生活動作の練習
- ・集団リハビリ(体操)

＼HAD予防としての集団リハビリ／

●集団リハビリの目的

身体機能面の維持・向上、離床機会の増加、生活リズムの形成、認知機能面低下の予防、なじみの関係の形成

●身体機能面での取り組み

くまもと笑顔でよかよか体操を基盤に取り組んでいます。数人で取り組むことで、負けないぞという意識に繋がるのか、参加者で切磋琢磨する様子がみられます。

●認知・精神機能面での取り組み

- ・回想法…昔の懐かしい写真や音楽、馴染み深い家庭用品などを話題にして語り合う心理療法のひとつで、1960年代にアメリカの精神科医のロバート・バトラーが提唱したものです。最近のことは忘れていても若い頃に聞いていた音楽や学校時代の話などは今でも鮮やかにお話される方も多く、聞いているスタッフも勉強になることが多いです。
- ・アクティビティ(風船バレーや魚釣りゲームなど)…活動を通じて得点の計算などを促し、認知機能や遂行機能などの脳の活性化、また達成感や対人交流といった活動に対する意欲などを向上させます。
- ・見当識の確認…今日の日付や今いる場所、出身地や生年月日などの確認

取り組みを行う中でこんな例もありました

認知機能面の低下があり日々の生活に楽しみやベッドから起きる理由もなく、ベッドに寝たきりの状態だった方が最初は気乗りしない状態でも、活動に参加することで徐々に顔見知りの人が増えてきて、「あの人がいるから今日も起きてみようかな」と、徐々に起きる楽しみになった例もあります。また、アクティビティに熱中し、普段よりも自然と身体を動かす患者さんもいらっしゃいます。今お話したような活動を交えながら、HAD発症を予防するよう意識しています。

以下に、くまもと笑顔でよかよか体操の一部をご紹介します。座ってでもできる体操ですので、ぜひこの記事を見ながら取り組んでもらえたらと思います。

くまもと笑顔でよかよか体操

●かかとあげ(カーフレイズ)

座位でも立位でもゆっくりと5数えながら踵をあげて、5数えながら踵をおろしてください。



●立ち座り運動(おじぎ運動)

ふらふらせずに立てる方は実際に立ち座りをします。立つのが難しい方は座ったままでお辞儀をするように身体を曲げてください。



●膝伸ばし運動

座位にて、左右片方ずつ膝伸ばしを行います。5数えながら膝をゆっくり伸ばし、5数えながら膝を元に戻していきます。



◎全て10～20回程度、無理のない範囲で行っていきます。

SAISEIKAI
MISUMI
HOSPITAL
さいごに

感染症対策のため、面会も頻繁にはできずご家族も不安が大きいと思います。
心配なことがあれば、いつでもご相談ください。



済生会みすみ病院 20周年記念企画

第2回 家族写真コンテスト 結果発表

金賞
GOLD MEDAL



ひいじい・ひいばあ
初めての抱っこ♪

ひいおじいちゃんの慣れない抱っこ姿とひいおばあちゃんの素敵な笑顔、新たな家族が増えた喜びの瞬間を切り取ったこちらを選びました。後ろに写っている昔の写真からもご家族の歴史を感じ取れるところがポイントでした。(広報委員長)

銀賞
SILVER MEDAL



初めての魚釣り



ママ、おかえり♪

ご応募いただいたみなさん、素敵な作品をありがとうございました。上記の入賞作品はホームページへ掲載させていただきます。

みすみ病院の できごと

SAISEIKAI MISUMI HOSPITAL

開院記念清掃活動



3月2日(土)、翌週開催される第52回天草パールラインマラソン大会のコースでみすみ病院開院記念の清掃活動を行いました。天候に恵まれた中、60名程が集まり活動を行いました。コロナ禍で地域活動が少なくなりましたが、職員とその家族、また上天草市職員の方々と協力しながら活動が再開できたことをとても嬉しく感じました。

職員の子どもたちとも、久しぶりの再開となりました。5歳前後の子どもたちが多く参加してくれ、元気いっぱい楽しそうに活動している姿がとても微笑ましかったです。公園や海岸で「カップラーメンのカップが落ちてるよ!」、「おにぎりのフィルムが落ちてる!」、「誰か食べて捨てたのかな」などと言いながら、ごみを捨てたりしてはいけないとの気付きになっているようでした。

今後も三角や大矢野地域など、いつもお世話になっている地域住民の方へ恩返しができるよう、活動を継続できたらと思います。

地域交流推進委員会

部署紹介★

医事室

多様性に富んだスタッフ総勢25名で構成
幅広い業務に取り組んでいます

医事室は、委託職員を含め総勢25名が在籍しています。子育て中のスタッフや他部署との兼務者、他業種からの転職者、幅広い年代など、多様性に富んだスタッフで構成されています。主な業務は、入院や外来の運営請求に関する事、施設基

準や統計、診療機材の購買に関する事、診療情報管理や医療秘書に関する事など、幅広い業務を担っています。各人が複数の業務を兼務しているため、互いにカバーし合いながら、パートナー企業と一緒に業務に取り組んでいます。



医事グループ

診療情報管理グループ

医療秘書グループ

ニチイ学館

日本ステリ